5.2 ナノテクノロジーを巡る産業競争力の評価

5.2.1 はじめに

本節では、産業競争力という視点から日米の競争力を検討する。とはいえ厳密な意味でナノテクノロジーに絞って産業競争力を比較することは、ほとんど不可能である。前述のようにナノテクノロジーは、極めて基礎的な研究の色彩が強く、これが一定の市場を新たに形成し、個々の企業ないし産業において一定の位置を占めるまでには一定の期間を要する(一般に、公的知識ストックが経済効果を生むまでのタイムラグは8年と言われている)。また、国際的に比較できるようなナノテクノロジーに絞った経済指標もない。

従って、ここではナノテクノロジーを含む産業分野全体の「技術貿易」、「生産高」および「研究開発費」から、ナノテクノロジーを巡る産業競争力について考察することにする。これは、今後の実用化に向けた産業界の課題を示すことになる。

5 . 2 . 2 産業競争力の評価方法

(1)評価因子1:「技術貿易」を指標とした評価

特許や技術上のノウハウを権利譲渡、実施許諾などの形式で行う国際取引は「技術貿易」と呼ばれている。

ここでは、ナノテクノロジーに関連する産業における技術貿易の金額および 件数、各々の絶対値と収支比の年次推移の調査を行い、日米技術競争力の比較 を行った。留意点は以下のとおりである。

- ・技術貿易に関する比較には、平成5年度から平成12年度「科学技術研究 調査」(総務省)に発表されている「産業、州別技術交流の件数及び対価受 払額(会社等)」のデータを用いた。ただし、この「産業、州別技術交流の 件数及び対価受払額(会社等)」での区分は「北アメリカ」となっており、 カナダなどの米国以外を含んでいる。
- ・産業分類は、表 5.2-1 に示すとおりである。また、産業とナノテクノロジー の対応関係については、表 5.2-2 に示す。
- ・技術貿易に関する評価には、輸出入の金額、件数、1件あたりの金額のそれぞれ絶対値と比を用いた。技術貿易収支比とは、「(技術輸出による対価 受取額)/(技術輸入による対価支払額)」で定義される。
- ・ここでの比較は、ナノテクノロジー関連産業全体であり、当然のことなが ら、ナノテクノロジーを直接比較している訳ではない。

表 5.2-1 技術貿易調査における産業分類の定義

分野	日本標準産業分類
医薬品工業以外の化	201 化学肥料製造業
学工業	202 無機化学工業製品製造業
	203 有機化学工業製品製造業
	204 化学繊維製造業
	205 油脂加工製品・石鹸・合成洗剤・界面活性剤・塗料製造業
	207 化粧品・歯磨・その他の化粧用調整品製造業
医薬品工業	206 医薬品製造業
プラスチック製品工	221 プラスチック板・棒・管・継手・異形押出製品製造業
業・ゴム製品工業	222 プラスチックフィルム・シート・床材・合成皮革製造業
	223 工業用プラスチック製品製造業
	224 発砲・今日カプラあすチック製品製造業
	225 プラスチック成型材料製造業(廃プラスチックを含む)
	229 その他のプラスチック製品製造業
	231 タイヤ・チューブ製造業
	232 ゴム製・プラスチック製履物・同附属品製造業
	233 ゴムベルト・ゴムホース・工業用ゴム製品製造業
	239 その他のゴム製品製造業
窯業	251 ガラス・同製品製造業
	252 セメント・同製品製造業
	253 建設用粘土製品製造業
	254 陶磁器・同関連製品製造業
	255 耐火物製造業
	256 炭素・黒鉛製品製造業
	257 研磨剤・同製品製造業
	258 骨材・石工品等製造業
	259 その他の窯業・土石製品製造業
鉄鋼業	261 高炉による製鉄業
	262 高炉によらない製鉄業
	263 製鋼·製鋼圧延業
	264 製鋼を行わない鋼材製造業
	265 表面処理鋼材製造業
	266 鉄素形材製造業
	269 その他の鉄鋼業
非鉄金属工業	271 非鉄金属第1次精錬・精製業
	272 非鉄金属第2次精錬・精製業
	273 非鉄金属·同合金圧延業
	274 電線・ケーブル製造業
	275 非鉄金属素形材製造業
	279 その他の非鉄金属製造業
電気機械器具工業	301 発電用·送電用·配電用·産業用電気機械器具製造業
	302 民生用電気機械器具製造業
	303 電球·電気照明器具製造業
	309 その他の電気機械器具工業
通信・電子・電気計	304 通信機械器具・同関連機械器具製造業
測器工業	305 電子計算機・同附属装置製造業

	306 電子応用装置製造業
	307 電気計測器製造業
	308 電子部品・デバイス製造業
精密機械工業	321 計量器・測定器・分析機器・試験機製造機
	322 測量機械器具製造業
	323 医療用機械器具・医療用品製造業
	324 理化学機械器具製造業
	325 光学機械器具・レンズ製造業
	326 眼鏡製造業(枠を含む)
	327 時計・動部品製造業

表 5.2-2 産業分類とナノテクノロジーの対応

一				
本解析で用いた産業分類	表 3-1 のナノテクノロジー分野			
医薬品以外の化学工業	バイオ材料			
也未開 <i>5</i> 77 57 6 5	ナノクラスター			
	ホスト-ゲスト材料			
	ナノエマルジョン			
	ナノスフェア			
	テーラーメイド化学			
医薬品以外の化学工業	環境触媒			
	光触媒			
	ナノデバイス・分子デバイス			
	排ガス触媒			
	バイオチップ・DNA チップ			
医薬品工業	ドラッグデザイン			
	タンパク質工学			
プラスチック製品工業、ゴム製品工業	ナノエマルジョン			
	ナノ磁性材料			
電気機械器具工業	量子コンピュータ、バイオコンピュータ			
通信・電子・電気計測器工業	カーボンナノチューブ			
	フラーレン			
	フォトニック材料			
	ナノワイヤ			
	プロトン材料			
	量子ドット・細線			
	量子デバイス			
	量子コンピュータ			
	バイオコンピュータ			
	光デバイス			
	水素吸蔵タンク			
	ー 小系吸風フンフ ーナノ磁性材料			
 精密機械工業	マイクロマシン(微小機械)			
↑月五代从工未				
	マイクロマシニング			

(2)評価因子2:「生産高」を指標とした評価

市場競争力を比較するために、ナノテク関連の市場規模を比較した。指標としては、出荷額に着目した。調査にあたっての留意事項は以下のとおりである。

- ・出荷額の比較には、OECD により出版されている"INDUSTRIAL STRUCTURE STATISTICS 1999 VOLUME 1 CORE DATA"を用いた。ただし、日本が1994年より分類をISIC, Revision 2 から Revision 3へと移行したため、日米で採用している分類表が異なる。したがって、関連分野の市場規模の比較には、大きな分野での比較を行った。表 5.2-3 に示す ISIC-Rev.3 の産業分類および表 5.2-4 に示す ISIC Rev.2 と Rev.3 の対応関係(OECD による)に従い、解析を試みた。したがって、我が国では、1994年から分類表を変更したため、1994年以降の日米比較が難しい点に留意する必要がある。
- ・ 繰り返しになるが、ここでの比較は、ナノテクノロジー関連産業全体の規模であり、当然のことながら、ナノテクノロジーを直接比較している訳ではない。

表 5.2-3 出荷高調査における産業分類

International Standard Industrial Classification (ISIC, Rev.2)			
351 - Manufacture of industrial chemicals			
352 - Manufacture of other chemical products			
353 - Petroleum refineries			
354 - Manufacture of miscellaneous products of petroleum and coal			
355 - Manufacture of rubber products			
356 - Manufacture of plastic products not elsewhere classified			
361 - Manufacture of pottery, china and earthenware			
362 - Manufacture of glass and glass products			
369 - Manufacture of other non-metallic mineral products			
371 - Iron and steel basic industries			
372 - Non-ferrous metal basic industries			
3831 - Manufacture of electrical industrial machinery and apparatus			
3833 - Manufacture of electrical appliances and housewares			
3839 - Manufacture of electrical apparatus and supplies not elsewhere			
classified			
3832 - Manufacture of radio, television and communication equipment and			
apparatus			
3851 Manufacture of professional and scientific, and measuring and			
controlling equipment			
not elsewhere classified			
3852 Manufacture of photographic and optical goods			
3853 Manufacture of watches and clocks			

表 5.2-4 ISIC Rev.2 と Rev.3 との対応関係

ISIC Rev.2	定義	ISIC Rev.3	定義
35	Chemical products	23+24+2 5	Coke,and petroleum products; nuclear fuel
36	Non-metallic Mineral Products	26	Non-Metallic Mineral Products
37	Basic metal industry	27	Basic Metals
383-3832	Electrical machinery excluding radio, TV and communication equipment	31	Electrical machinery
3832	Radio, TV and communication equipment.	32	Electro. Equip.(radio, TV and commu.)
385	Professional goods	33	Instruments, watches and clocks

(3)評価因子3:「研究開発費(産業界の支出分)」を指標とした評価

ナノテクノロジーの各分野に関連する分野の産業界の研究開発費の年次推移を調査した。調査にあたっては、研究費の年次推移とともに、研究費の対 GDP 比を算出し、日米比較を行った。研究開発費に関しては、OECD が公表している"Research and Development Expenditure in Industry 1977-1998 (2000 Edition)"を参照した。ここでは、両国とも ISIC, Rev.3 の分類 (表 5.2-5) にしたがっている。また、各国の GDP は図 5.2-1 に示した「科学技術指標 2000 (科学技術庁 科学技術政策研究所 編)」を参照した。レート換算には、図 5.2-2 に示す OECD の購買力平価(Purchase power parities for GDP)^(注1)を用いた。

(注1)購買力平価とは、ある一定の財・サービスを購入できる金額を異なる通貨間でそれぞれ等しい価値をもつと考えて決められる交換比率のこと。

表 5.2-5 表 研究開発費調査における産業分類

	International Standard Industrial Classification (ISIC, Rev.3)		
医薬品以外の	2411 - Manufacture of basic chemicals, except fertilizers and nitrogen		
化学工業	compounds		
Chemicals(less	2412 - Manufacture of fertilizers and nitrogen compounds		
pharmaceuticals)	2413 - Manufacture of plastics in primary forms and of synthetic rubber		
F	2421 - Manufacture of pesticides and other agro-chemical products		
	2422 - Manufacture of paints, varnishes and similar coatings, printing ink		
	and mastics		
	2424 - Manufacture of soap and detergents, cleaning and polishing		
	preparations, perfumes and toilet preparations		
	2429 - Manufacture of other chemical products n.e.c.		
E#07W	2430 - Manufacture of man-made fibres		
医薬品工業	2423 - Manufacture of pharmaceuticals, medicinal chemicals and botanical		
Pharmaceuticals	products		
プラスチック	2511 - Manufacture of rubber tyres and tubes; retreading and rebuilding of		
製品工業・ゴム	rubber tyres		
製品工業	2519 - Manufacture of other rubber products 2520 - Manufacture of plastics products		
Rubber &	2320 - Manufacture of plastics products		
Plastic Products			
窯業	2610 - Manufacture of glass and glass products		
Non-Metallic	2691 - Manufacture of non-structural non-refractory ceramic ware		
Mineral	2692 - Manufacture of refractory ceramic products		
Products	2693 - Manufacture of structural non-refractory clay and ceramic products		
	2694 - Manufacture of cement, lime and plaster 2695 - Manufacture of articles of concrete, cement and plaster		
	2696 - Cutting, shaping and finishing of stone		
	2699 - Manufacture of other non-metallic mineral products n.e.c.		
 鉄鋼非鉄金属	2710 - Manufacture of basic iron and steel		
Basic Metals	2720 - Manufacture of basic precious and non-ferrous metals		
	2731 - Casting of iron and steel		
	2732 - Casting of non-ferrous metals		
電気機械器具	311 - Manufacture of electric motors, generators and transformers		
Electrical	312 - Manufacture of electricity distribution and control apparatus		
machinery	313 - Manufacture of insulated wire and cable		
	314 - Manufacture of accumulators, primary cells and primary batteries		
	315 - Manufacture of electric lamps and lighting equipment		
 マム まっ ま	319 - Manufacture of other electrical equipment n.e.c.321 - Manufacture of electronic valves and tubes and other electronic		
通信・電子・電	components		
気計測器	322 - Manufacture of television and radio transmitters and apparatus for		
Electro. Equip.	line telephony and line telegraphy		
	323 - Manufacture of television and radio receivers, sound or video		
	recording or reproducing apparatus, and associated goods		
精密機械工業	3311 Manufacture of medical and surgical equipment and orthopaedic		
Instruments,	appliances		
Watches &	3312 Manufacture of instruments and appliances for measuring, checking,		
Clock	testing, navigating and other purposes, except industrial process control		
	equipment		
	3313 Manufacture of industrial process control equipment		
	3320 Manufacture of optical instruments and photographic equipment		
	3330 Manufacture of watches and clocks		

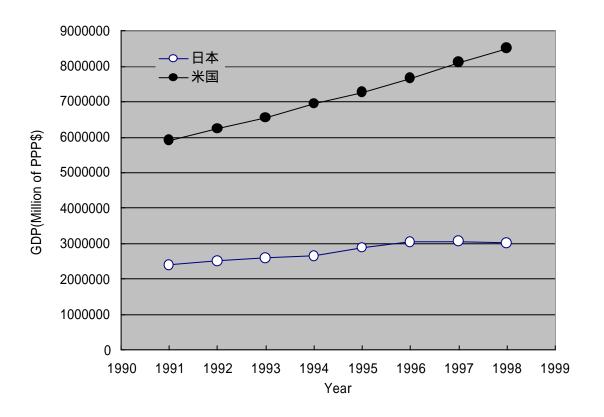


図 5.2-1 日米両国の GDP の年次推移

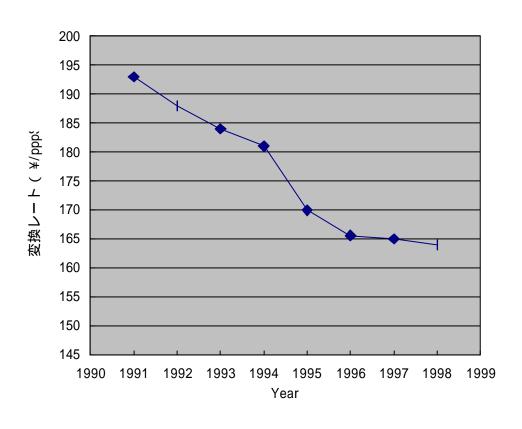


図 5.2-2 GDP 算出に用いた換算レート

5.2.3 産業競争力に関する統計データ

(1)技術貿易に関する統計データ

図 5.2-3~5.2-10 に表 5.2-2 に示す「カーボンナノチューブ」から「超微細加工技術」までの各分野の日本の対米技術貿易額に関する統計データを示した。図中、(a)は技術貿易額の年次推移、(b)は技術貿易件数の年次推移、(c)は 1 件あたりの技術貿易額の年次推移をそれぞれ棒グラフで示している。また、図中(a), (b), (c)には、輸出と輸入の技術貿易額、技術貿易件数、 1 件あたりの技術貿易額の輸出入比をそれぞれ折れ線グラフで示した。すなわち、比が 1.0 より大きな値を示せば輸出が輸入を上回っていること、1.0 より通避ければこの逆であることを示している。技術貿易に関する詳細な議論は、次節以降に示す。